

令和2年度 中部地方整備局関係予算の概要



令和2年3月

国土交通省中部地方整備局

令和2年度 中部地方整備局関係予算の概要

目 次

1. 令和2年度中部地方整備局関係予算の基本方針 . . . P. 1
2. 令和2年度中部地方整備局関係予算の配分額 . . . P. 4
3. 実施事例（位置図） . . . P. 5
4. 県別の整備箇所事例一覧 . . . P. 7

（参考資料）

- 令和2年度の道路調査の見通しについて . . . P. 12
- 官民連携による渋滞対策の推進 . . . P. 13

1. 令和2年度中部地方整備局関係予算の基本方針

1) 配分方針

令和2年度国土交通省関係予算については、「被災地の復旧・復興」、「国民の安全・安心の確保」、「生産性と成長力の引上げの加速」、「豊かで暮らしやすい地域づくり」の4分野に重点化し、施策効果の早期発現を図ります。

中部地方整備局としては、台風第19号の災害により被災した河川、道路等について、本格的な復旧を図るとともに、頻発する自然災害や切迫する南海トラフ巨大地震等に備え、

- ① 生命と財産を守るため、防災・減災、国土強靱化の取組を加速化・深化
- ② 災害発生時も、「いのち」と「暮らし」を守り、「ものづくり中部」の経済活動を支える!!
- ③ 「物流」のみならず「人流」を生み出す、インバウンド促進のための基盤整備

のために、“まだまだ不足する防災・減災、国土強靱化の取組”を、さらに強力に推進し、人々が安全に安心して暮らせる中部を築くため、以下の項目に重点をおいて予算を配分します。

生命と財産を守るため、防災・減災、国土強靱化の取組を加速化・深化

■ 令和元年台風第19号の関東東北を中心とした洪水被害では、狭窄部の上流で決壊等の被害が発生。矢作川^{うくび}の首地区では、豊田市街地を流れる上流部と比較して川幅が狭い狭窄部の抜本的対策に着手するとともに、愛知県管理区間の流下断面が不足している箇所^がの河道掘削に事業間連携河川事業として愛知県が着手し、上下流一体となった整備を推進します。

また、飯田市下流部に位置する天竜川^が鷲流峡の狭窄部対策は完成する予定です。

■ 災害時には、災害復旧活動の拠点となり、平常時には地域の人々の交流の場として活用される河川防災ステーションが菊川市、西尾市の2か所で完成する予定です。

■ ダム再生のモデルケースとなる新丸山ダム^{しんまるやま}では、本体工事に着手するとともに、付替道路工事等を進めます。

■ 治水安全度の向上及び安定的な水の供給に向け、設楽ダム^{したら}では、付替道路工事などを進めるとともに、引き続き、本体工事(基礎掘削)を進めます。

■ 近年の豪雨増加傾向や南海トラフ地震の発生懸念により地すべり発生リスクが高まっているため、天竜川中流地区^{てんりゅうがわちゅうりゅう}では、横ボーリング工の本体工事に着手します。

■ 現道の落石、法面崩落などの危険箇所を回避する国道41号石浦バイパス^{いしうら}(宮崎トンネル区間(延長4.7km))、国道156号大和改良(延長1.0km)をR2年度に開通します。



矢作川鷲の首地区水位低下対策事業



新丸山ダム建設事業(イメージ図)



天竜川中流地区地すべり対策事業

- 歩行者・自転車・自動車など道路を利用する方の交通事故等のリスクが低減できるように、国道1号^{はまつせいぶ} 浜松西部地区などの事故対策、国道156号^{ためざに} 為真地区などの歩道整備、国道42号^{みはまきほう} 御浜紀宝地区などの自転車通行空間整備などの交通安全対策を推進します。



石浦バイパス



大和改良



国道42号 御浜紀宝地区
自転車通行空間整備事業

- 津波浸水リスクの高いゼロメートル地帯における木曾三川及び庄内川の河口部においては引き続き河川堤防の耐震対策を進めます。

- 総合的な津波・高潮対策として、駿河海岸^{するが} では「粘り強い構造の海岸堤防」の整備、津松阪港海岸^{つまつさか} では既設堤防の老朽化対策及び耐震対策を進めます。



津松阪港海岸
直轄海岸保全施設整備事業



木曾川津波対策耐震事業

- 港湾及びその背後地を防護する取組とし

て、大規模津波等に対して減災効果のある「粘り強い構造」を取り入れた防波堤の整備を、清水港^{しみず} 外港地区、御前崎港女岩地区、衣浦港外港地区^{きぬら がいこう} において推進します。

- 既存庁舎の耐震性能不足や老朽化による機能の不具合解消を図るとともに、にぎわいの創出等により地域の活性化に貢献できるよう高山地方合同庁舎^{たかやま}の整備を行います。



高山地方合同庁舎 完成イメージ

災害発生時も、「いのち」と「くらし」を守り、「ものづくり中部」の経済活動を支える!!

- 名古屋港との直結により、円滑な物流ネットワークを確保する名古屋環状2号線(名古屋西～飛島)(延長12.2km)をR2年度に開通します。
- 東海環状自動車道において、養老IC～北勢IC(仮称)(延長18.0km)への有料事業費を拡大し、事業を加速することにより、R8年度の全線開通が見込まれます。
- 三重県北勢・中勢地域を結ぶ幹線道路を強化し、四日市港^{よっかいち}へのアクセス向上となる国道23号鈴鹿四日市道路^{すずかよっかいち}を新たに事業化します。



名古屋環状2号線



東海環状自動車道(仮称)北勢IC



鈴鹿四日市道路

■ 由比地区においては、豪雨や南海トラフ地震の発生等に伴う地すべりにより、幹線交通が分断され人命救助や経済活動に甚大な影響を及ぼすことが想定されるため、地すべり対策を進めます。



由比地区地すべり対策事業

■ 名古屋港飛島ふ頭地区及び金城ふ頭地区において、ものづくり産業を支えるため、耐震強化岸壁を整備し、物流機能を強化します。



名古屋港ふ頭再編整備事業
(飛島ふ頭、金城ふ頭)

「物流」のみならず「人流」を生み出す、インバウンド促進のための基盤整備

- 土木遺産や多様な自然環境などの地域資源を活かしたエコツアーやインフラツアーに河川空間を活用するため、ワンド整備や船着場等の整備などを行う、愛西市愛西地区水辺整備(木曾川)を進めます。
- 富士山周辺の豊富な観光地へのアクセス向上、新東名高速道路 御殿場C(仮称)へのアクセス道路となる国道138号須走道路・御殿場バイパス(西区間)(延長5.2km)をR2年度に開通します。
- R9年開業予定のリニア中央新幹線(仮称)長野県駅へのアクセス向上に資する国道153号伊駒アルプスロードを、権限代行事業として新たに事業化します。
- 外国人観光客6,000万人時代を見据え、より多くのクルーズ旅客の受入れを図るため、清水港日の出地区において、岸壁の改良を推進します。



船頭平閘門と木曾川観光船



御殿場バイパス(西区間)



伊駒アルプスロード

<中部地方整備局関係予算の配分額>

配分事業費 8, 845億円

内 訳

(歳出 :	直轄	3, 532億円
		補助等	5, 313億円

国庫債務負担行為(ゼロ国債) 85億円

(注) 計数は、それぞれ四捨五入しているため、端数において合計とは一致しない場合があります。

2. 令和2年度中部地方整備局関係予算の配分額

(1) 事業別配分額【直轄】

(単位:百万円)

区 分	R2年度						R1年度			
	本省配分	防災・減災、国土強靱化のための緊急対策	整備局配分(一括配分)	防災・減災、国土強靱化のための緊急対策	計	防災・減災、国土強靱化のための緊急対策	国庫債務負担行為(ゼロ国債)	本省配分	整備局配分(一括配分)	計
治 水	85,435	16,665	20,114	2,453	105,549	19,118	5,108	73,811	18,871	92,682
海 岸	5,624	1,861	0	0	5,624	1,861	270	4,824	0	4,824
道 路	125,777	1,289	79,991	15,343	205,768	16,632	2,950	123,181	81,917	205,098
港 湾	31,085	11,657	0	0	31,085	11,657	150	27,188	0	27,188
都市水環境整備	558	0	873	0	1,431	0	40	522	889	1,411
国営公園等	2,195	0	0	0	2,195	0	0	2,054	0	2,054
官庁営繕	736	0	778	0	1,514	0	0	800	566	1,366
合 計	251,410	31,472	101,756	17,796	353,166	49,268	8,518	232,380	102,243	334,623

(2) 事業別配分額【補助等】

(単位:百万円)

区 分	R2年度						R1年度		
	本省配分	防災・減災、国土強靱化のための緊急対策	整備局配分(一括配分)	防災・減災、国土強靱化のための緊急対策	計	防災・減災、国土強靱化のための緊急対策	本省配分	整備局配分(一括配分)	計
治 水	21,636	5,038	0	0	21,636	5,038	18,990	0	18,990
海 岸	553	0	0	0	553	0	450	0	450
道 路	80,824	0	0	0	80,824	0	30,560	0	30,560
港 湾	3,617	594	0	0	3,617	594	1,956	0	1,956
空港整備	179	0	0	0	179	0	0	0	0
住宅対策	3,322	0	11,197	48	14,518	48	10,162	6,552	16,714
市街地整備	26,966	0	0	0	26,966	0	20,074	0	20,074
都市水環境整備	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下水道	9,580	0	2,459	0	12,039	0	9,501	703	10,204
都市公園等	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小 計	146,677	5,632	13,655	48	160,333	5,679	91,693	7,255	98,948
社会資本整備総合交付金	179,442	2,683	0	0	179,442	2,683	204,216	0	204,216
防災・安全交付金	191,512	42,458	0	0	191,512	42,458	246,170	0	246,170
合 計	517,631	50,772	13,655	48	531,286	50,820	542,079	7,255	549,334

(3) 補助事業等の県別配分額

(単位:百万円)

県	R2年度						R1年度		
	補助	防災・減災、国土強靱化のための緊急対策	交付金	防災・減災、国土強靱化のための緊急対策	計	防災・減災、国土強靱化のための緊急対策	補助	交付金	計
岐阜県	28,133	144	55,678	6,093	83,811	6,237	10,541	71,018	81,559
静岡県	36,355	874	90,710	10,914	127,066	11,788	23,105	119,538	142,643
愛知県	78,075	4,452	166,545	17,492	244,621	21,944	60,106	190,727	250,833
三重県	17,768	210	58,021	10,642	75,789	10,852	5,196	69,104	74,299
合 計	160,331	5,680	370,954	45,141	531,286	50,820	98,948	450,386	549,334

(注1)数字は、事業費ベースです。

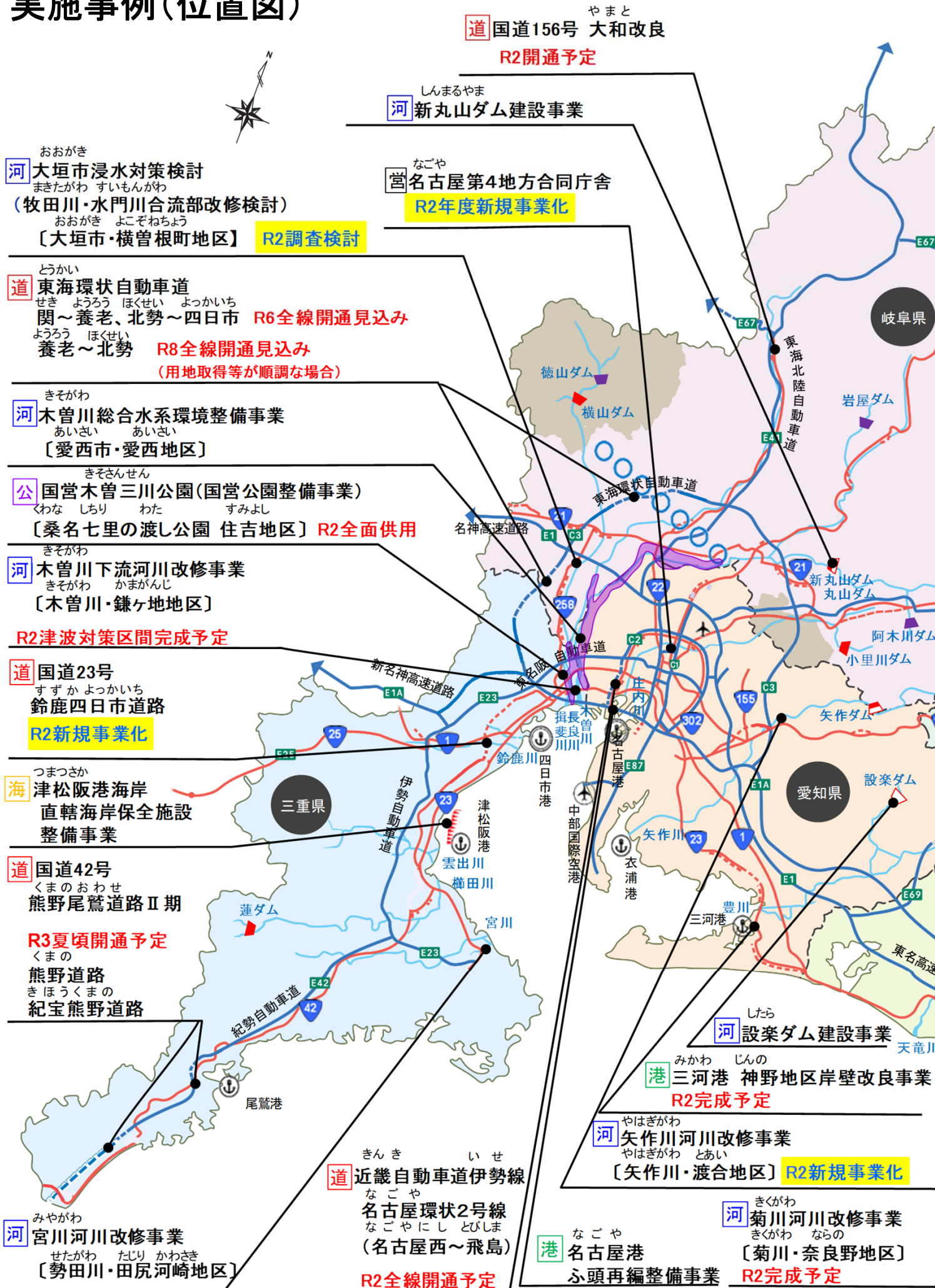
(注2)国庫債務負担行為(ゼロ国債)は、本省配分と一括配分の合計であります。

(注3)計数は、それぞれ四捨五入しているため、端数において合計とは一致しない場合があります。

(注4)本省が全国的な観点から事業執行の判断を要するものは本省配分、中央省庁等改革基本法に基づき地方支分部局に配分権限を委任したものを一括配分としています。

(注5)当資料の次ページ以降に記載している完成予定、開通予定については、事業進捗等により今後、変更する場合があります。

3. 実施事例(位置図)



道 国道41号 石浦バイパス

R2一部開通予定

道 中部縦貫自動車道
ちゅうぶ
たかやまきよみ
国道158号 高山清見道路

宮 高山地方合同庁舎
たかやま
R2年度完成予定

- | | |
|---------------|-----------------|
| 河 河川関係 | 道 道路関係 |
| 港 港湾関係 | 海 海岸関係 |
| 公 公園関係 | 営 官庁営繕関係 |

河 天竜川上流河川改修事業
てんりゅうがわ
だしな しもひさかた
〔天竜川・駄科・下久堅地区〕 R2完成予定

道 国道153号
いこま
伊駒アルプスロード
R2新規事業化

河 天竜川中流地区直轄地すべり対策事業
てんりゅうがわ

道 三遠南信自動車道
さんえんなんしん

道 国道138号
すばしり
須走道路
ごてんば
御殿場バイパス(西区間)
R2一部開通予定

道 伊豆縦貫自動車道
いず

海 駿河海岸直轄海岸
するが
保全施設整備事業

港 御前崎港 女岩地区
おまえざき めいわ
防波堤(改良)整備事業

河 由比地区直轄地すべり対策事業
しみず ひので
港 清水港 日の出地区岸壁改良事業

凡例

- 国際拠点港湾 (国際拠点空港)
- 重要港湾 (その他空港・飛行場)
- その他港湾
- 高規格幹線道路(開通済)
- 高規格幹線道路(事業中)
- 高規格幹線道路(調査中)
- 主要国道(開通済)
- 主要国道(事業中)
- 現道改良区間
- 一級水系
- 直轄砂防区域
- 直轄地すべり地区
- 直轄海岸施工区域
- 直轄ダム(管理中)
- 直轄ダム(再開発)
- 直轄ダム等(建設・実調中)
- 水機構(管理中)
- 水機構(建設・実調中)
- 国営木曾三川公園

【静岡県内の主な整備箇所】

	事業名	事業主体	R2当初配分額	
河川関係	狩野川河川改修事業(清水町 徳倉地区 狩野川徳倉護岸整備事業 他)	国	14.9億円	徳倉地区 R2新規箇所
	安倍川河川改修事業(静岡市 俵沢地区 安倍川俵沢堤防強化事業 他)	国	10.2億円	俵沢、福田ヶ谷地区 R2完成予定
	大井川河川改修事業(島田市 神座地区 大井川神座堤防拡幅事業 他)	国	9.5億円	
	菊川河川改修事業(菊川市 奈良野地区 菊川下内田河川防災ステーション整備事業 他)	国	9.1億円	奈良野地区 R2完成予定 半済地区 R2新規箇所
	天竜川下流河川改修事業(浜松市 谷川地区 天竜川谷山無堤部対策事業 他)	国	6.0億円	谷川地区 R2完成予定
	狩野川総合水環境整備事業(清水町 柿田地区 自然再生 他)	国	0.6億円	
	大井川総合水環境整備事業(島田市 宝来地区 水辺整備)	国	0.6億円	
	天竜川ダム再編事業	国	9.1億円	
	狩野川水系直轄砂防事業(伊豆市 市山地区 砂防堰堤工群 他)	国	9.3億円	
	富士山直轄砂防事業(富士宮市 大沢川遊砂地 他)	国	36.4億円	
	安倍川水系直轄砂防事業(静岡市 大谷山腹工 他)	国	8.5億円	
	由比地区直轄地すべり対策事業	国	22.1億円	
	沼川大規模特定河川事業(沼津市 放水路整備)	県	18.0億円	
	事業間連携砂防等事業(静岡市 勤兵衛沢砂防堰堤工 他)	県	8.9億円	勤兵衛沢ほか9箇所 R2新規箇所
道路関係	国道1号・414号 伊豆縦貫自動車道	国	96.5億円	
	国道474号 三遠南信自動車道	国	29.8億円	
	国道1号 静岡東西道路 静岡バイパス	国	45.4億円	
	国道1号 東駿河湾環状道路(沼津岡宮～愛鷹)	国	6.0億円	
	国道1号 富士由比バイパス	国	0.6億円	
	国道1号 藤枝バイパス	国	7.4億円	
	国道1号 島田金谷バイパス	国	21.4億円	
	国道138号 須走道路	国	27.7億円	R2 全線開通予定
	国道138号 御殿場バイパス(西区間)	国	79.4億円	R2 一部開通予定
	国道139号 富士改良	国	8.4億円	
	国道246号 裾野バイパス	国	1.0億円	
	国道1号 静岡1号 交差点改良等(瀬名IC交差点改良)	国	0.8億円	R2 新規事業化
	国道1号 静岡1号 交差点改良等(清水西地区交差点改良)	国	0.5億円	R2 新規事業化
	国道1号 静岡1号 交差点改良等(長鶴交差点改良)	国	0.06億円	R2 新規事業化
	国道246号 静岡246号 交差点改良等(小山上野地区視距改良)	国	6.0億円	
国道1号 福塚電線共同溝	国	4.5億円		
(町)古川川尻1号線 古川橋修繕代行事業(吉田町)	国	0.1億円	R2 新規事業化	
港湾関係	清水港白の出地区岸壁改良事業	国	18.9億円	
	清水港外港地区防波堤(改良)整備事業	国	7.2億円	
	清水港富士見地区岸壁改良事業	国	2.5億円	
	御前崎港女岩地区防波堤(改良)整備事業	国	6.9億円	
	御前崎港女岩地区岸壁改良事業	国	0.6億円	
	御前崎港女岩地区泊地整備事業	国	1.2億円	
	田子の浦港港口地区航路・泊地整備事業	国	1.1億円	
下田港防波堤整備事業	国	5.6億円		
海岸関係	富士海岸直轄海岸保全施設整備事業	国	20.0億円	
	駿河海岸直轄海岸保全施設整備事業	国	20.9億円	
	浜松五島海岸海岸保全施設整備連携事業	県	0.6億円	R2新規箇所
官庁宮繕関係	下田地方合同庁舎(長寿命化(建具改修、受変電設備改修、給排水設備改修))	国	1.1億円	

【愛知県内の主な整備箇所】

	事業名	事業主体	R2当初配分額
河川関係	豊川河川改修事業(豊橋市 牛川地区 豊川牛川霞堤浸水被害対策事業 他)	国	5.7億円
	矢作川河川改修事業(豊田市 渡合地区 矢作川鶴の首地区水位低下対策事業 他)	国	14.7億円
	庄内川河川改修事業(名古屋市 宝神地区 庄内川宝神堤防耐震緊急事業 他)	国	30.0億円
	木曽川下流河川改修事業(弥富市 前ヶ須地区 木曽川鍋田上水門改築事業 他)	国	6.3億円
	木曽川上流河川改修事業(一宮市 起地区 木曽川起・小信中島堤防改築事業)	国	1.4億円
	豊川総合水系環境整備事業(豊橋市、豊川市 豊川下流部地区 自然再生)	国	0.6億円
	矢作川総合水系環境整備事業(豊田市 白浜地区 水辺整備 他)	国	0.5億円
	木曽川総合水系環境整備事業(愛西市 愛西地区 水辺整備 他)	国	3.0億円
	矢作ダム再生事業	国	3.3億円
	設楽ダム建設事業	国	230.2億円
	八田川・地蔵川床上浸水対策特別緊急事業(名古屋市、春日井市 排水機場整備 他)	県	21.3億円
	野府川(日光川2号放水路)大規模特定河川事業(一宮市 放水路整備)	県	1.5億円
	矢作川事業間連携河川事業(豊田市 河道掘削)	県	6.4億円
事業間連携砂防等事業(豊田市 矢作川第79支川砂防堰堤工 他)	県	13.2億円	
堀川、山崎川事業間連携河川事業「100ミリ安心プラン」(名古屋市 護岸整備 他)	市	30.4億円	
道路関係	近畿自動車道伊勢線 名古屋環状2号線(名古屋西～飛鳥)	国	17.1億円
	国道474号 三遠南信自動車道	国	52.4億円
	国道23号 豊橋浜松道路・名豊道路 豊橋バイパス	国	5.5億円
	国道23号 名豊道路 蒲郡バイパス	国	72.4億円
	国道23号 名豊道路 岡崎バイパス	国	1.0億円
	国道247号 西知多道路 西知多道路(東海ジャンクション)	国	26.0億円
	国道1号 震災橋架替(熱田伝馬橋架替)	国	8.6億円
	国道41号 名濃バイパス	国	20.0億円
	国道153号 豊田北バイパス	国	10.4億円
	国道153号 伊勢神改良	国	12.8億円
	国道155号 豊田南バイパス	国	19.4億円
	国道302号 名古屋環状2号線・愛知302号環境対策	国	58.6億円
	国道1号 愛知1号 交差点改良等(東栄町三丁目東交差点改良)	国	0.09億円
	国道19号 愛知19号 交差点改良等(丸の内二丁目地区事故対策)	国	1.7億円
	国道302号 愛知302号 交差点改良等(貴生町・貴生町西交差点改良)	国	0.6億円
	国道302号 愛知302号 交差点改良等(玉池町交差点改良)	国	0.09億円
	国道302号 愛知302号 交差点改良等(追進町三丁目交差点改良)	国	0.09億円
	国道41号 小牧電線共同溝	国	4.5億円
国道302号 鳴海Ⅲ共同溝	国	11.4億円	
国道302号 緑地共同溝	国	12.0億円	
港湾関係	名古屋港ふ頭再編整備事業	国	229.6億円
	名古屋港稲永ふ頭地区岸壁改良事業	国	0.4億円
	三河港神野地区岸壁改良事業	国	8.4億円
	三河港神野地区国際物流ターミナル整備事業	国	1.3億円
	衣浦港外港地区防波堤(改良)整備事業	国	2.7億円
	衣浦港武豊北ふ頭地区国際物流ターミナル整備事業	国	1.5億円
衣浦港中央ふ頭地区岸壁改良事業	国	1.0億円	

海岸関係	とこなめ 常滑海岸大規模海岸保全施設改良事業	県	1.2億円	R2新規箇所
公園関係	きそさんせん 国営木曾三川公園（国営公園整備事業） 〔フラワーパーク江南、138タワーパーク 等〕	国	2.8億円	
官庁 宮籍 関係	なごや 名古屋第4地方合同庁舎（敷地調査）	国	0.06億円	R2年度 新規事業化
	なごや 名古屋第2地方合同庁舎（空調設備改修）	国	1.1億円	
	なごや 名古屋港湾合同庁舎（空調設備改修）	国	1.7億円	
	なごや 名古屋国税総合庁舎（外壁改修、給排水設備改修）	国	3.0億円	
	あいち 愛知県警察学校（天井耐震対策）	国	0.4億円	

【三重県内の主な整備箇所】

	事業名	事業主体	R2当初配分額	
河川 関係	きそがわ 木曾川下流河川改修事業（桑名市 鎌ヶ池地区 木曾川津波対策耐震事業 他）	国	28.7億円	鎌ヶ池地区 R2津波対策区間完成予定 加路戸地区R2完成予定
	すずかがわ 鈴鹿川河川改修事業（鈴鹿市 北一色地区 鈴鹿川北一色堤防強化事業 他）	国	13.0億円	高岡、北一色地区 R2完成予定
	くもすがわ 雲出川河川改修事業（津市 高峯・川原地区 雲出古川高峯・川原堤防整備事業 他）	国	14.5億円	高峯・川原、島貫、木造地区 R2完成予定
	くしだがわ 榑田川河川改修事業（松阪市 清水地区 榑田川清水堤防整備事業）	国	1.9億円	
	みやがわ 宮川河川改修事業（伊勢市 田尻・河崎地区 勢田川流域浸水対策緊急事業 他）	国	10.6億円	
	きそがわ 木曾川総合水系環境整備事業（桑名市 木曾・揖斐川河口部地区 自然再生）	国	0.3億円	
	くしだがわ 榑田川総合水系環境整備事業（松阪市 東黒部地区 自然再生）	国	0.2億円	
	みやがわ 宮川総合水系環境整備事業（玉城町 昼田地区 自然再生）	国	0.01億円	
	あいかわ 相川大規模特定河川事業（津市 捷水路整備、橋梁架替 他）	県	2.3億円	
	とばこうち 鳥羽河内ダム建設事業	県	7.4億円	
	事業間連携砂防等事業（いなべ市 青川砂防堰堤工 他）	県	6.4億円	小平谷ほか5箇所 R2新規箇所
道路 関係	くまのおおせ 国道42号 熊野尾鷲道路（Ⅱ期）	国	45.7億円	R3夏頃 全線開通予定
	くまの 国道42号 熊野道路	国	19.4億円	
	まほうくまの 国道42号 紀宝熊野道路	国	3.4億円	
	とうかいかんじょう 国道475号 東海環状自動車道	国	39.5億円	北勢～四日市 R6 全線開通見込み 養老～北勢 R8 全線開通見込み※
	くわなとうぶ 国道1号 桑名東部拡幅	国	12.4億円	
	ほくせい 国道1号 北勢バイパス	国	32.4億円	
	すずかよっかいち 国道23号 鈴鹿四日市道路	国	0.5億円	R2 新規事業化
	ちゅうせい 国道23号 中勢道路	国	45.4億円	
	まつさか 国道42号 松阪多気バイパス	国	9.4億円	
	みえ 国道23号 三重23号 交差点改良等（伊勢市内交通バリアフリー化整備）	国	0.2億円	R2 新規事業化
みえ 国道25号 三重25号 交差点改良等（板屋IC改良）	国	2.6億円		
みえ 国道42号 三重42号 交差点改良等（丹生柘原歩道整備）	国	0.09億円	R2 新規事業化	
みえ 国道258号 三重258号 交差点改良等（桑名警察署前交差点改良）	国	0.6億円	R2 新規事業化	
	よっかいち ひなな 国道1号 四日市日永電線共同溝	国	2.4億円	
港湾 関係	よっかいち かずみがうらみなみ 四日市港霞ヶ浦南ふ頭地区岸壁改良事業	国	4.5億円	
	よっかいち 四日市港外港地区防波堤改良事業	国	2.5億円	
海岸 関係	よっかいち かずみがうら 四日市港霞ヶ浦地区事業化検証調査	国	1.0億円	
	つまつさか 津松阪港海岸直轄海岸保全施設整備事業	国	14.6億円	
	うえの しらつか 上野・白塚海岸海岸保全施設整備連携事業	県	2.5億円	
公園 関係	きそさんせん 国営木曾三川公園（国営公園整備事業） 〔桑名七里の渡し公園〕	国	0.7億円	住吉地区 R2全面供用

※ 用地取得等が順調な場合

【長野県内の主な整備箇所】

	事業名	事業主体	R2当初配分額
河川関係	天竜川上流河川改修事業(飯田市 駄科・下久堅地区 天竜川 鷲流峡拡幅事業 他)	国	18.0億円 駄科・下久堅、日曾利、荒神山地区 R2完成予定
	天竜川総合水系環境整備事業(飯田市、駒ヶ根市、高森町、喬木村、豊丘村 天竜川地区 自然再生)	国	0.3億円
	三峰川総合開発事業	国	25.7億円
	天竜川水系直轄砂防事業(伊那市 中田切川砂防堰堤改築 他)	国	54.8億円
	木曾川水系直轄砂防事業(大桑村 越百川第3砂防堰堤 他)	国	18.7億円
	天竜川中流地区直轄地すべり対策事業	国	5.4億円
道路関係	国道474号 三遠南信自動車道	国	70.8億円
	国道19号 藪原改良	国	3.6億円
	国道19号 桜沢改良	国	16.5億円
	国道153号 伊駒アルプスロード	国	0.5億円 R2 新規事業化
	国道19号 長野19号 交差点改良等(平沢地区交差点改良)	国	2.4億円

【山梨県内の主な整備箇所】

	事業名	事業主体	H31当初配分額
河川関係	富士山直轄砂防事業(富士吉田市、鳴沢村 北麓遊砂地工群 他)	国	5.1億円

【奈良県内の主な整備箇所】

	事業名	事業主体	H31当初配分額
道路関係	国道25号 名阪道路	国	1.2億円

- 注1) 記載事業は、国庫債務負担行為(ゼロ国債)を除く。
 注2) 県をまたぐ事業については当該県分のR2当初配分額が記載されています。
 注3) 計数は、それぞれ四捨五入しているため、端数において合計とは一致しない場合があります。

令和2年度の道路調査の見通しについて

個別路線の事業化に向けて、ルート・構造検討に係る調査等を進めます。
 主な調査箇所は、下記の通りです。

【主な調査箇所】

都市計画・環境アセスメントを進めるための調査

静岡県	伊豆縦貫自動車道	天城湯ヶ島～河津
長野県	国道153号	飯田南道路
愛知県	名岐道路(一宮～一宮木曾川)	

概略ルート・構造の検討(計画段階評価を進めるための調査)

静岡県	国道1号	浜松バイパス
岐阜県	中部縦貫自動車道(平湯～日面)	
静岡県・愛知県	浜松三ヶ日・豊橋道路(仮称)	

直轄による権限代行実施の検討を行うための調査

愛知県	西知多道路
-----	-------

名古屋港をはじめとした効率的な物流交通確保に向け、一宮西港道路及び名古屋三河道路を含む名古屋都市圏環状機能強化の検討を実施します。

国道23号(十一屋・宝神交差点間)については、交通状況を踏まえ、名古屋市と連携し、整備方針を検討するための調査を実施します。

国道25号名阪国道の必要な事故対策等も含めた、奈良・三重間のネットワークの在り方について、調査検討を実施します。

名神名阪連絡道路について、計画の具体化に向けて滋賀県及び三重県と連携して進めます。

静岡市内の交通円滑化を図るために、国道1号長沼交差点付近の、道路機能強化の検討を実施します。

伊豆湘南道路について、計画の具体化に向けて神奈川県及び静岡県と連携して進めます。

近鉄四日市駅の交通結節機能の強化(特定車両停留施設等※)に向けた調査を実施します。

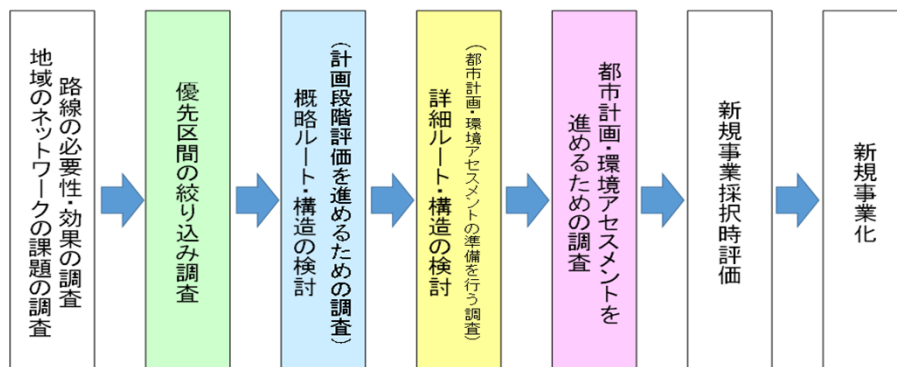
※改正法案を国会提出済み

その他の未整備区間についても、当該地域の交通状況、社会経済状況や道路網の課題等を調査し、優先区間の検討や地域の道路網の中での必要性・整備効果の整理等を進めます。

また、中京圏周辺のボトルネック箇所への集中的対策に向けた調査を推進します。

さらに、渋滞や交通安全など、地域における道路交通に関する課題、サービスレベルを把握するためのデータ収集・分析等を行うとともに、路線の必要性、緊急性、妥当性に関する基礎的な調査を実施します。

<道路調査の流れ>



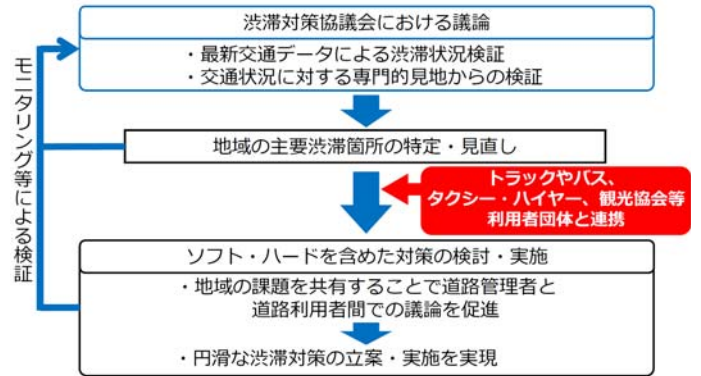
官民連携による渋滞対策の推進

1. 概要

各県単位で、道路管理者、警察等から構成される渋滞対策協議会において、効果的な対策を検討・実施しています。

この渋滞対策協議会とトラックやバス等の利用者団体との連携を強化し、利用者目線で対策箇所を特定した上で、速効性のある渋滞対策を実施します。

【渋滞対策の流れ】



2. 主な事業箇所・事業内容

国道 21 号 新太田橋交差点(岐阜県 美濃加茂市)



<< 直進車線の増設を予定 >>

国道 1 号 長鶴交差点 (静岡県 浜松市)



<<直進車線の増設を予定 >>

国道 1 号 音羽蒲郡 IC 交差点(愛知県 豊川市)



<< 右折レーンの延伸を予定>>

国道 23 号 雲出本郷町交差点 (三重県 津市)



<< 右折レーンの延伸を予定 >>